

## 令和2年度 第1回教育研究評議会議事要録

日時 令和2年4月16日（木）14:00～15:35  
場所 水戸：事務局第1会議室，人文社会科学部C棟406教室(VCS)  
共通教育等第二会議室(VCS)  
日立：E1棟応接室(VCS)，阿見：第一会議室(VCS)  
出席者 太田学長，久留主理事，佐川理事，山岸理事，鳥羽田理事，菊池理事，金野副学長，栗原副学長兼全学教育機構長，折山副学長，内田人文社会科学部長，荒川教育学部長，田内理学部長，増澤工学部長，戸嶋農学部長，原口図書館長，鈴木評議員，高橋評議員，瀧澤評議員，野崎評議員，岡田評議員，金評議員，乾評議員，鎌田評議員，大久保評議員，木下評議員，安評議員

### 議 題

#### 審議事項

- 1 第3期中期目標期間の4年目終了時評価における「研究業績説明書（案）」の策定について
- 2 学長選考会議委員の選出について
- 3 教員の休職について
- 4 その他

#### 報告事項

- 1 遠隔授業・テレワークガイドラインについて・多要素認証の早期実施について
- 2 新型コロナウイルス感染症の発生等に伴う国立大学法人等における期限の定めのある規定等の取扱いについて
- 3 令和元年度教職大学院認証評価の評価結果について
- 4 令和2年度入学試験の実施及び受入状況について
- 5 令和2年度科学研究費助成事業交付内定状況について
- 6 論文剽窃チェックツール「iThenticate」の活用について
- 7 その他

### 議 事 概 要

#### I 審議事項

- 1 第3期中期目標期間の4年目終了時評価における「研究業績説明書（案）」の策定について  
学長から，審議願いたい旨の提案があり，さらに，大学戦略・IR室長から資料1に基づき説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。なお誤字等の修正がある場合は，20日（月）までに報告することとなった。
- 2 学長選考会議委員の選出について  
学長から，審議願いたい旨の提案があり，さらに，総務課長から資料2に基づき説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

- 3 教員の休職について  
学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、工学部長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 4 その他  
無し

## II 報告事項

- 1 遠隔授業・テレワークガイドラインについて・多要素認証の早期実施について  
佐川理事より、新型コロナウイルス感染症対策への迅速な対応のため、情報委員会等の諸会議を飛ばして、直接評議会での報告となった旨の説明があった。そののち、羽瀧学長特別補佐から、資料4に基づき報告があった。
- 2 新型コロナウイルス感染症の発生等に伴う国立大学法人等における期限の定めのある規定等の取扱いについて  
大学戦略・IR室長から、資料5に基づき報告があった。
- 3 令和元年度教職大学院認証評価の評価結果について  
全学教育機構長から、資料6に基づき報告があった。
- 4 令和2年度入学試験の実施及び受入状況について  
折山副学長から、資料7に基づき報告があった。
- 5 令和2年度科学研究費助成事業交付内定状況について  
金野副学長から、資料8に基づき報告があった。
- 6 論文剽窃チェックツール「iThenticate」の活用について  
金野副学長から、資料9に基づき報告があった。
- 7 その他1  
「Level2 段階での学生・教職員の登校規制について」  
佐川理事から、資料10に基づき説明があった。

### 【主な意見】

- ・研究継続のために必要な植物への水やりや機器のチェック等、学生のみでも対応できる些細な作業についても、教員同席を必須とすべきかどうか。
- ・接触回避も重要だが、単独研究を行うと研究時の安全性が保たれないのはいいか。
- ・公共交通機関の使用を認めていいのかどうか。

- ・テレワークに移行するにあたりガルーンの権限は学外からどの程度閲覧が可能になるのか。学外から使用できない場合、スケジュール管理や物品購入はどのように対応ができるのか。
- ・非常勤の研究支援職員や事務補佐員、派遣職員の勤務形態はどのようになるのか。
- ・工・農学部の1年生等、所属学部とは別のキャンパスに通う学生への対応はどのようにするのか。

#### その他2

「令和2年4月8日付け「茨城県からのお願い」を踏まえたテレワークの実施及び通勤・通学禁止について（通知）」  
農学部長から、資料11に基づき説明があった。

### III 監事からの意見

- ・新型コロナウイルス感染症について最大の目的は感染防止であり、スピード感が第一である。多少面倒でもやらざるを得ない。
- ・急激なオンライン授業やオンライン勤務への移行に対して、丁寧に対応している分、情報共有が十分でないと感じる。大学の方針をわかりやすくはっきり、確定版として示してもらえるとよい。
- ・新型コロナウイルスの影響により、教育研究活動が十分にできない状態が続くと思われる。昨年度より科研費の採択件数や採択率が低下したり、研究業績が右肩下がりといった報告があった。大変な状況ではあるが、徐々に教員と職員の業務分担を整理し、教員が教育研究に専念できる環境を整えてほしい。

### IV その他 無し

次回 教育研究評議会開催  
5月14日（木） 14時00分から